

専門研修プログラム連携施設紹介フォーマット

施設名	豊岡中央病院	連携領域	整形外科			
			病院情報			
			住 所	〒078-8237 旭川市豊岡7条2丁目1-5		
			連絡先	0166-32-8181 (代表)		
			病床数	159床		
			理 念	<p>一、患者さん第一の医療を実践します。二、安心かつ安全な医療、看護、介護を実践します。三、日々医療技術、知識の研鑽に努め、地域医療に貢献します。四、質の高い医療を継続できるように、健全な病院経営を行ないます。</p>		

領域別研修紹介

領域名	整形外科	指導医 数	6	名	専門医 数	名
		<p>研修責任者（氏名、略歴、資格、コメントなど）</p> <p>病院長 後藤 英司（旭川医科大学 1 期生） 昭和 54 年旭川医科大学整形外科入局。整形外科助手、講師を経て平成 14 年より豊岡中央病院副院長、平成 15 年より同院長。日本整形外科学会認定専門医。日本整形外科学会、日本股関節学会、日本小児股関節研究会幹事、日本小児整形外科学会評議委員、北海道整形災害外科学会評議委員。</p>				
<p>研修紹介欄（研修の特色、施設のスrongポイント、学会認定施設、連絡先など）</p> <p>当院の整形外科は人工関節と脊椎外科がメインであり、多数の症例を誇る高度な手術は、広く全国から手術見学希望の医師が来院しています。</p> <p>人工股関節は骨セメントを使用する方法を取り入れておりますが、この手法は近年少なくなっており、原因としては手技の煩雑さや、若いドクターに手技を学ぶ機会が少ないことが考えられます。しかし、人工股関節に大事なものは耐久性と安全性であり、この手法はセメントレスには見られない約 30 年の耐久性が確認できているので、当院の人工股関節チームは信念を持って手術に望んでいます。また、30 年以上にわたって再手術を要せずに経過した人工股関節患者を管理している医療機関は国内で当院のみで、世界的にも貴重なデータを有しております。当院ではこれまで 2,300 例を超える人工股関節手術を実施しています。</p> <p>人工膝関節については、当院は T K A、U K A とともに手術手技教育病院として認定されており、全国から多くの医師が研修に訪れています。受け入れ医師数は昨年だけでも 40 名を超え、ここ 7 年では延べ 132 名の医師が当院で手術手技を学んでいます。患者も年々増加し、全国各地からセカンドオピニオンを求められています。当院はこれまで 1,700 例を超える人工膝関節手術を実施しています。</p> <p>脊椎分野は、脊椎脊髄病学会指導医 2 名を擁し、幅広い慢性疾患を中心に「丁寧な診察と治療」を心がけています。症例の多彩さ、豊富さは道北屈指の施設であると自負しております。術式も安全、低侵襲を旨とし、常に最先端の治療法を取り入れています。例えば腰椎椎間板ヘルニアだけでも、内視鏡による摘出術（道内初の実施）、通常の LOVE 法、棘突起縦割法による摘出術といった病態に合わせた多彩な方法を学ぶことができます。腰部脊椎管狭窄症では低侵襲除圧術、片側侵入両側除圧、内視鏡による除圧、小皮切筋間アプローチによる固定、経皮的椎弓根スクリュー（国内導入開始 7 施設のうちの一つ）といった最先端の手術法を積極的に導入しています。また、道内でも数少ない成人脊柱変形に対する手術も行なっています。さらに、術中脊髄モニタリング装置を道内他施設に比していち早く導入し、手術の安全性向上にも努めております。</p> <p>当院で学ぶことにより、新しい赴任先でも「単なる一兵卒」ではなく、手術を行なえる希少かつ貴重な戦力として貢献できる人材になることが期待できます。熱意ある皆さんの応募をお待ちしています。</p> <p><日本整形外科学会認定施設></p>						